

三度のリバウンドを経て日常生活の支障が軽減した成人アトピーの経過 (36 歳)

症例 ID：001-30-HW | 記録日：2015 年 11 月 22 日

1. 診断・治療前経過

高校 1 年生の時、目の周りの赤みやかゆみで受診し、アトピーと診断されました。その後、症状が全身に広がり、複数の医療機関を受診しましたが、ステロイド治療が中心でした。

就職後もステロイドを塗りながら肌状態を保っていましたが、次第にステロイドで症状を抑えきれない不安を感じ、28 歳の時に松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	高校生以降、アトピー症状に対してステロイド外用薬を使用していました。
製品名	不明。
強度	不明。
使用期間	高校 1 年生頃から松本医院受診前まで、長期にわたる使用歴があります。
中止時期	松本医院受診後、ステロイドを使わない方針へ移行しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
高校 1 年生頃	来院前	目の周りに赤みやかゆみが出て、アトピーと診断されました。
28 歳・2008 年 3 月	治療開始	松本医院を受診し、煎じ薬、赤と黄色の軟膏、入浴剤で治療を開始しました。
2008 年 6 月頃	1 回目リバウンド	顔と全身に赤みやかゆみが出始め、掻破による血やリンパ液、夜間不眠がありました。8 月盆休み明けから休職しました。
2008 年 9～11 月	強い時期	かさぶたの量が多く、熱っぽさとかゆみで昼間も横になることが多い時期でした。
2008 年 12 月～2009 年 5 月	回復傾向	12 月末に仕事復帰し、2009 年 4～5 月頃には化粧をして普通の生活を送れるようになりました。
2011 年 11 月頃	2 回目リバウンド	結婚・引っ越し後、首の赤みとかゆみから顔・全身に広がり、リンパ液や夜間不眠が出て、12 月末に仕事を辞めました。
2012 年 9 月頃	2 回目回復傾向	肌状態が少し落ち着き、夜眠れるようになりました。
2013 年 11 月頃	3 回目リバウンド	出産後、目周囲の赤みと腫れから全身に広がり、夜も眠れず、育児が難しくなり実家で過ごしました。
2014 年 12 月～2015 年 10 月	経過後	リバウンド症状が落ち着き、夜眠れるようになりました。2015 年 10 月時点では顔の部分的なカサカサと肘内側の湿疹が残るものの、日常生活に支障はありませんでした。

4. ピーク時期

ピークは、1回目の2008年6～11月頃、2回目の2011年11月以降、3回目の2013年11月以降のリバウンド期です。特に3回目は育児中で、夜間不眠と全身症状により実家で過ごす必要がありました。

5. 困りごと

- ・顔と全身の赤み、かゆみ、リンパ液、落屑により夜眠れない時期がありました。
- ・1回目のリバウンドでは休職し、2回目では仕事を辞める必要がありました。
- ・3回目のリバウンドでは子どもの世話が難しくなり、実家で過ごす必要がありました。
- ・環境変化ごとにリバウンドが出るのではないかと不安がありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。

項目	内容
IgE（非特異的）	2008年から2016年にかけて上下しながら推移しています。グラフでは2009年頃と2015年頃に高い時期が確認できます。



IgE（非特異的）の推移。

7. 経過のまとめ

高校生頃から長期にステロイドを使用し、28歳で松本医院を受診されました。2008年、2011年、2013年に3回の強いリバウンドを経験し、休職、退職、育児困難による実家での生活など、生活面にも大きな影響がありました。

2014年12月頃から3回目のリバウンドは落ち着き、夜眠れるようになりました。2015年10月時点では顔の部分的なカサカサと肘内側の湿疹が残っていましたが、日常生活に支障はない状態でした。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。